

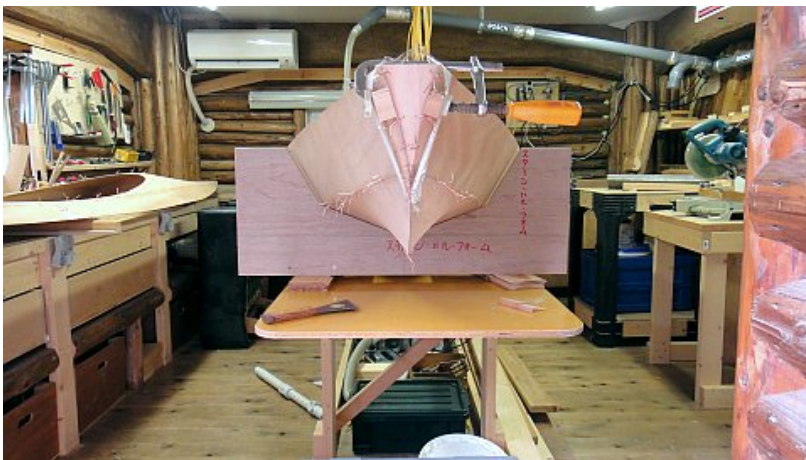
Kayak Dog

[Home](#) ▶ [工房 "KAYAK9"](#) ▶ [Wood Duck 12の製作](#) ▶ (5) 仮留めと仮接着

(5) 仮留めと仮接着

2011年 9月 02日(金曜日) 18:15 | Author: サセックス卿 | [📄](#) [📁](#) [✉](#)

ハルとデッキが組み上がりました。次の作業は前半の山場、「Dry Fitting」と「Tack-Welding」、つまり接着せずにハルとデッキを組んでみて接合部の不具合を修正する、そしてOKならハルとデッキをまた分離し、それぞれを構成するパネルをエポキシで仮接着します。この作業が済めばよいよ後半のエポキシ作業に移ることになります。まずハルの最終チェックをします。パネル接合部にズレはないか、パネルはスムーズな曲線になって歪みはないか、全体は捻れていないか、前後左右からしげしげ眺めてチェックします。船台に置いて作業したので特にゆがみは見られませんでした。が、昨夜から除湿器を動かして放置していたためか全体にスティッチが緩めだったので、もう一度締め直しました。下の写真はスターンからのものですが微妙なスターン部のカーブが見て取れます。ちなみにこのハルだけで約190箇所のスティッチを行っています。デッキは特に問題がありませんでした。



メインメニュー

[Home](#)

[工房 "KAYAK9"](#)

[Wood Duck 12の製作](#)

[カヤック製作準備](#)

[アトリエ](#)

[情報源](#)

[アマゾン号に乗りたい!](#)

[コンタクト](#)

[プロフィール](#)

[ブログフィード](#)

[Links](#)



いよいよハルにデッキを載せて仮留めしてみます。設計図通り正確に木取りされているとは言うものの、ねじ曲げてできたハルとデッキですから置いただけでピッタリ合うということはなく、ところどころ僅かですが片方が膨らんだりへこんだりしています。それを修正しつつ銅線でギリギリとスティッチして行きます。助手はこの姿を見て「なんか木靴みたいで可愛い～」と言ってました。





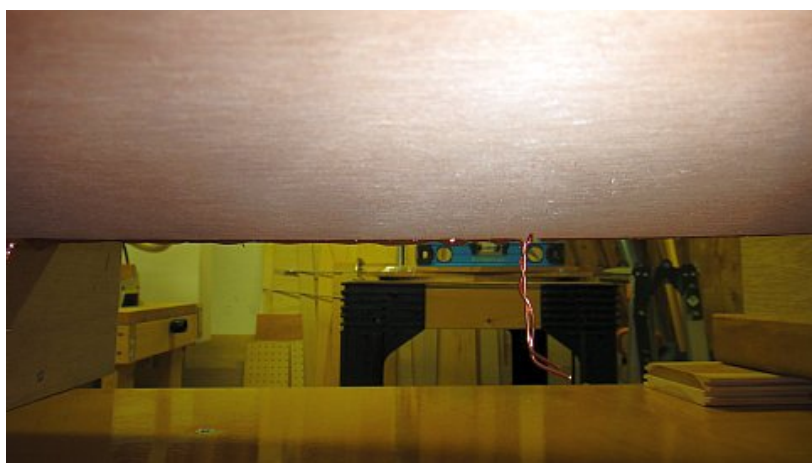
大きな隙間も歪みもなくハルとデッキを接合できることが確認できたので、スティッチを解いてハル、デッキの仮接着に移ります。ハル、デッキのパネル接合部にエポキシを充填していくのですが「**Tack-Welding**（仮溶接）」と呼ばれるように、チョンチョンと接着しておきその後のフィレットイング（エポキシとファイバー・グラスによる強化）に備えるわけです。これでデッキ、ハル共にその形状が固定されます。もっとも実際にはチョンチョンではなく、撤去する銅線とフォーム部を除いたすべてのパネル接合部にエポキシ（ケチャップ状）を充填してパネル同士を接着します。

まずハルの仮接着から。難しい作業ではありませんが、なにしろエポキシ作業はこれが二回目（一回目はパネルの接着でした）。計量し攪拌したエポキシに木粉と滑らかにするためのシリカを混ぜてケチャップ状にし、シリンジ（注射器、針なし）でパネル接合部の隙間を充填接着していきます。注意しても何力所は銅線にエポキシがついてしまいました。助手に手伝ってもらい短時間で作業を終え、使ったエポキシは60ml x 3でした。





ボトムパネル接合部の一部に僅かな隙間があったためそこからエポキシがはみ出ています。



パウとスターンにはさらにピーナッツバター状のエポキシでフィレットングを施し強度を高めておきます。



デッキも同様に仮接着し、もう一度ハルとデッキを仮留めします。まだエポキシは硬化していないので、この状態でデッキとハルを接合したままエポキシを硬化させれば、そのままの形に固まるというわけです。銅線とラップでハルとデッキを接合していきました。合わさったハルとデッキをスティッチするのは難しいです、デッキを少し持ち上げて作業するのですが、なかなか銅線を通せません・・・本番の接合の時にはあらかじめ長めの銅線を通しておかなきゃ。





それにしても、なんでデッキのエッジに張ったマスキング・テープを剥がすの忘れちゃったんだろう？作業中にエポキシがついたら二度とデッキを外せなくなるからその予防に張ったマスキング・テープなのに・・・剥がさないと意味ないじゃん（エポキシ垂れてなくて良かったあ）。

最終更新 (2011年 9月 02日(金曜日) 21:37)

© 2009 [Kayak Dog](#)
All Rights Reserved.

powered by Joomla
free templates by Deposit Poker & Unlimited Web Hosting